

令和4年度
第2回三重県地域医療対策協議会
令和4年12月12日

参考資料2

診療科別の需給推計に用いたデータ等

(留意点)

- 本資料で提示する推計は、実際の診療データに基づき、現状の各診療科の診療実態を反映したエビデンスに基づくものであるが、現状の診療科と疾病等の対応が将来維持されるものと仮定し、機械的に算出したものであり、総合的な診療の領域^{※2}の役割などについて別途検討を行う必要があることに留意しつつ、幅を持った検討を行う必要があるものである。
- 各診療科医師数と専門医資格保有医師数は異なるものであり、必ずしも、養成数が専攻医養成数を意味しない。
- 各都道府県別の必要医師数の見通しについては、全国の見通しを患者数の比で機械的に按分^{※3}したものである。

※1 計算の仮定・前提は以下の通り。

- 厚生労働科学研究「保健医療介護現場の課題に即したビッグデータ解析を実践するための臨床疫学・統計・医療情報技術を磨く高度人材育成プログラムの開発と検証に関する研究」(研究代表者 東京大学 康永秀生)の研究結果(DPCデータから求めた69診療科×傷病分類(ICD-10)別の患者数)を用いて、厚生労働科学研究「ニーズに基づく専門医の養成に係る研究」(研究代表者 自治医科大学 小池創一)において、基本診療領域×傷病中分類(患者調査)別の患者数を算出し、基本診療領域と疾病等との対応表を作成。
- 放射線科、臨床検査、救急科、リハビリテーション科については、全診療科における患者数、麻酔科、病理については、外科における患者数、精神科については、患者調査における「精神及び行動の障害」における患者数を用いた。
- 現在＝2016年医師数(仕事量)については、平成28年医師届出票における主たる診療科別医師数を基本診療領域に統合(主たる診療科について、内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科(胃腸内科)、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科(代謝内科)、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心療内科については内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科(胃腸外科)、肛門外科、小児外科については外科、産婦人科、産科、婦人科については産婦人科、形成外科、美容外科については形成外科として集計)したものを用い、性年齢階級別に第3次中間取りまとめにおけるマクロ供給推計の仕事率を掛け合わせた。
- 現在＝2016年における必要医師数については、各診療科別勤務時間等(「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」(平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」研究班)結果を基に医政局医事課で作成)及び第3次中間取りまとめにおける勤務時間を週60時間に制限する等の仮定をおくマクロ需要推計の推計値(需要ケース2)を用いて調整。
- 2016年、2024年、2030年、2036年における必要医師数については、「診療科と疾病等の対応表」に基づき、性年齢階級別の人口推計及び平成26年患者調査に基づく受療率を踏まえ計算。
- 全国の推計値については、第3次中間取りまとめにおけるマクロ需給推計の推計値と整合性をとるために調整。
- 年間養成数の算出にあたっては、診療科別の生残率を用いた。

※2 総合診療、救急、ICU・病棟管理領域等を想定。

※3 全国の性年齢階級別受療率と都道府県の性年齢階級別推計人口を用いて都道府県別診療科ごとの患者数を推計し、平成26年の患者数に基づく都道府県別診療科ごとの施設所在地ベースの患者数と患者住所地ベースの患者数の比が将来も一定であるものとして患者流出入後の患者数を計算した。

○ 新規養成数の推計（診療科別）

区分	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理
年間採用数（2021～2031年度）	32	5	3	3	12	7	6	5	2	4	3	4	5	2
年間採用数（2032～2036年度）※1	26	4	3	2	9	5	5	4	1	3	2	3	4	2

区分	臨床検査	救急科	形成外科※2	リハビリテーション科	総合診療科	三重県
年間採用数（2021～2031年度）	0	1	3	1	2	100
年間採用数（2032～2036年度）※1	0	0	2	1	1	80

※1 医学部臨時定員の効果（+20名）を加味しない人数

※2 形成外科は2024年度（令和6年度）以降の採用数を掲載

資料：日本専門医機構「年度採用数」、厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師調査（統計）

○ 残存率（性年齢階級別）

性	区分	29歳以下	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	90歳以上
男	残存率		1.29	1.06	1.09	1.06	0.96	1.01	0.99	0.94	0.88	0.82	0.70	0.77	0.00
女			0.98	1.13	1.12	1.01	0.93	1.05	0.97	0.88	0.99	0.92	0.48	0.60	0.00

資料：厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師調査（統計）2010年～2020年

○ 仕事率（性年齢階級別）

性	区分	29歳以下	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	90歳以上
男	仕事率 （労働時間比）	1.24	1.21	1.21	1.14	1.14	1.02	1.02	0.86	0.86	0.64	0.64	0.64	0.64	0.00
女		1.15	0.95	0.95	0.84	0.84	0.87	0.87	0.77	0.77	0.62	0.62	0.62	0.62	0.00

資料：医師偏在指標に係るデータ集（令和元年度）